

拝啓 社長殿

税理士法人わかば

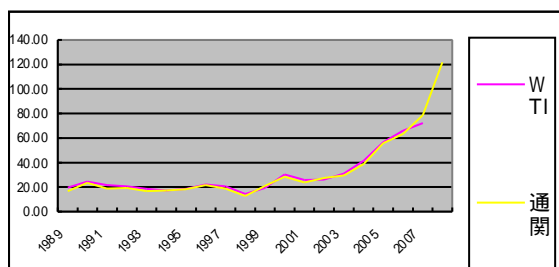
今回のテーマ： 原材料価格の高騰と今後の展望

1 ある経営者の悩み・・・

大豆食材（豆腐・豆乳など）の製造・販売をしている会社の経営者です。

副産物の‘オカラ’は、旧式機械のまま多量の重油で乾燥させて産業廃棄物として捨てていた。原油価格、大豆価格はますます高騰。その一方で、家畜の飼料価格も高騰。重油を大幅に節約でき、かつ‘オカラ’を‘飼料’に替える設備投資をしてはどうだろうか？しかし設備投資には8500万円かかる。現在の相場が今後も続くかどうか・・・

2 原材料の代表格である原油価格の値上がりを見ると・・・



一般によく知られる WTI (West Texas Intermediate) 原油の生産量は僅か 30 万バレル/日で、世界石油需要の 0.4%。一方 WTI 原油先物の取引量は、16 億バレル/日 (生産量の 5300 倍相当)。1% に満たないマーケットの需給関係に、ファンド資金も参入して世界の原油価格を左右するいびつな価格形成といえます。

価格は需要と供給のバランスで決まる、とされるが、投機的資金によっても上下する (ウィパディア)。

グラフ：WTI：BP 社 HP 通関統計：日本貿易統計他

3 過去のバブル崩壊と比較して・・・

1990 年のバブル崩壊前後、日経平均株価は 3 年で 1.5 万円から 3.8 万円台に達しました。「日経平均株価は 10 万円まで高騰する」と言う人も出ました。2006 年来の原油価格の急上昇カーブと、バブル当時の日本株の上昇カーブは酷似するという指摘もあります。

4 原油高の転換点は？ - 複合要因が決め手に

各国の政策対応	米議会の規制法案。各国政府の先物市場の参加者、資金量規制の動き。
インフレの亢進	原油高を原因とした貧困層の暴動。先進国でも起きています。
原油増産	原油価格に影響を与えるのは実際の生産量よりも生産能力にある。サウジは 2009 年半ば生産能力を 1500 万バレル/日 (現在 1140 万バレル) に引き上げるといいます。

お見逃しなく！

5 原材料価格が沈静化した場合の展望

原油価格等の高騰原因は新興国需要説が有力ですが、投機的資金による高騰もあるとすれば、各国政府の規制強化などで価格が鎮静化した場合への備えも重要です。原材料価格の値下がり、資源株・資源国通貨の下落、世界的インフレ懸念の後退、新興国経済の再上昇、円高亢進などが予想されます。設備投資の要否は、原材料価格の推移をさらに見極めてからの意思決定ではないでしょうか。

6 米国のパワー - 2週間で住宅公社の救済法案成立

サブプライム問題と原油価格の高騰にあえぐ米国ですが、このスピードと決断力は、机の上のデータでは計算できない米国の資産です。危機に際しては、国をあげて結束する米国の力は無視できません。高騰を抑えインフレ懸念がなくなれば、さらなる金利引下げによる救済も可能になります。

お問い合わせ先：税理士法人わかば

TEL：042-729-6440 FAX：042-729-6991

Mail：info@wakaba-tax.com

情報提供：太陽ASGグループ（グラント・ソントン 加盟事務所）